

06 ~阪急うめだ本店に常設店~ 次は「拠点」を作る

2011年から事業に本格的に取り組むべく体制を整えたものの、東日本大震災が起り、東北支援プロジェクト「EAST LOOP」に奔走しつつも「Love&sense」の常設店舗出店を模索していました。そんな中、阪急百貨店うめだ本店が7年越しのリニューアルオープンを控えていることを聞きつけ、プレゼンテーションに伺いました。西日本で最大規模かつファッションを牽引する阪急百貨店での常設店舗は新たな挑戦となりましたが、次のライフスタイルを提案するという面で共感をいた

だき、出店することになりました。

百貨店の本店にフェアトレードのセレクトショップが常設店としてオープンしたのはおそらく日本で初めてです。誰もが気軽に立ち寄れる、そしてフェアトレードに関心のない人たちとも積極的に接点を持てるような環境を整えることができました。

スタッフと共に、より多くの人にフェアトレードのこと、生産者のこと、途上国で起こっていることをお伝えし、お買い物を楽しんでいただいています。



2015年
第二四半期
フロアの売上
伸び率第1位
を獲得

2016年2月
接客
ロールプレイング
コンテスト
にて優勝



「エシカルウィーク」を阪急百貨店と共に企画。さまざまなエシカル・フェアトレードブランドを誘致し、トークショーなどを開催しました。
(写真) トークイベント。パタゴニアの辻井日本支社長と共に



世界でこんな人が、
こんなものを
作っています。

hanam シルク玉ネックレス
(ベトナム)

ウッドビーズをシルクでくるんで、手作りされているネックレスは、誰もがつけた時の軽さに驚きます。長さのあるネックレスなので2連や3連など洋服に合わせて ゴージャスにも、カジュアルにもアレンジ可能です。少数民族や障がい者をサポートしているNGOと一緒に開発しました。



ブルタブッグ
(ブラジル)

誰もが驚くスタイリッシュなデザイン。すべてリサイクルされたブルタブでできています。ブラジルの首都ブラジリア郊外の貧困地域の女性たちによって作られているこのバッグやアクセサリーは、地元のコミュニティづくりにも貢献し、MOMA(ニューヨーク近代美術館)のミュージアムショップでも人気です。オフィスシーンでも華やかさを添えます。

タグアアクセサリ
(コロンビア)

象牙に代わるエコ素材として注目を浴び、ベジタブルアイボリーとも呼ばれるタグア。南米の太平洋岸の熱帯雨林に自生する象牙椰子の種子から作られています。色鮮やかなネックレス、ブローチ、ピアス、プレスレットと幅広い品揃えが大人気です。自然のぬくもりが感じられる、地球にやさしいアクセサリです。



かごバッグ
(タイ)

川を埋め尽くすホテイアオイを材料として作られているかごは、農村地域で高齢のため農作業ができなくなった女性たちに貴重な現金収入をもたらしています。カラフルな色の組み合わせは作っている女性たちのオリジナルデザイン。カジュアルなシーンはもちろん、着物や浴衣などにも大活躍します。



100年ストール
(カンボジア)

プノンベンからメコン川を渡った小さな村。雨季には水かさが増し、ボートでしか移動できないこの地域では、手織りのストールが大切な収入源になっています。母から娘へと代々、織りの技術が100年以上も伝えられ、今も家々から布を織るリズムカルな音が響いています。手織りならではのしなやかさが魅力です。